

【食品表示活用研究会 -2016 年度活動報告- 】

＜食品表示活用研究会とは＞

2015年に開催した「上級食品表示診断士の会」を母体とし、2016年4月より、会員から選出された「世話人」の方により企画、運営される「食品表示活用研究会」として、新たに発足しました。

2017年度も「上級合格者の会」の会員の皆様に「食品表示活用研究会」への募集を行い、会の活性化を図る予定です。

＜食品表示活用研究会の構成と目的＞

研究会の有志により自主的に運営され、以下の諸活動を通じて、会員及びその所属組織の発展を図り、食品表示制度の円滑な運営に寄与することを目的とします。

- ・有識者等を招いての食品表示に関する理解の向上
- ・会員同士の情報交換の促進による課題解決
- ・消費者への食品表示ルールの認知促進
- ・食品表示に関する調査研究の実施

＜食品表示活用研究会 2016 年度の活動＞

●研究会の総メンバーは65名、うち下記7名の世話人による企画運営が実施されました。

役職	氏名(敬称略)	企業・団体名(2016年4月時点)
会長	天明 英之	味の素株式会社
副会長	黒金 伸栄	株式会社シジシージャパン
会計長	遠藤 睦子	フジフーズ株式会社
会計長	長瀬 健一郎	株式会社モスフードサービス
事務長	古宇 朗人	SOMPO リスケアマネジメント株式会社
事務長	岡本 美穂	国分グループ本社株式会社
事務長	大西 由美	株式会社タカキフードサービスパートナーズ

●内容:3つの研究部会を開設し、各部会に分かれて活動を行いました。

部会名	活動概要	会員数
事業者実務部会	事業者の表示実務者が集まり、意見交換や情報の共有を行うことで、業種業態を超えて参加者の知識、能力を互いに高め合うことを目的としています。	23名
専門家との交流部会	食品表示に関わる専門家の講演を聞き、その後意見交換を行います。その食品表示が義務化された背景を知ることにより、食品表示についての理解を深めます。	33名
消費者部会	消費者関連団体と連携し、情報収集や講演会などのコミュニケーションを通して消費者への食品表示の普及を図ります。消費者の食品表示に関する基本的な知識の習得を助け、自らが安全かつ適切に食品を選択できるよう手助けします。	9名

●各部会の2016年度の活動は下記の通りです。

		事業者実務部会	専門家との交流部会	消費者部会
第1回	開催日	2016年7月19日	2016年7月22日	2016年7月29日
	テーマ	・小売業の食品表示 ・景表法改正の見方	・アレルギー患者から見たアレルギー表示	・消費者はどう表示を見ているか
第2回	開催日	2016年9月14日	2016年10月18日	2016年11月2日
	テーマ	・水産物の食品表示 ・食品表示の課題	・栄養成分表示義務化にあたって	・消費者への食品表示作成実例紹介 (消費科学センター)
第3回	開催日	2016年11月24日	2017年1月27日	2017年3月24日
	テーマ	・百貨店の取り組み ・表示担当者の悩み	・食品表示基準に基づく食品添加物の表示	・消費者とのフリーディスカッション (同上)
3部会合同	開催日	2017年3月3日		
	テーマ	3部会の2016年度活動成果の発表		

▼ 事業者実務部会より



▼ 専門家との交流部会より



▼ 消費者部会より

